



**ZAI/さい**  
HAYU NOTE 1200円(税込)  
10月17日発売

「FLY」「夏の終わり」「ここまで」「僕のラブソング」の全4曲収録。6年間の活動の集大成であり、4曲全てひっくり返してZAIの名刺代わりという渾身の作品。普段のアコースティックユニットとしてのZAIとはひと味違ったバンドサウンドも新たな試み。



## ZAI

さい

大学の軽音楽部で出会った伊藤直輝 (Vo & G) と山村幸佑 (G & Cho) が'01年に結成したアコースティックユニット。結成以来6年間、月に3回ほどのライブ活動を続け、自主制作のCDなども多数制作。

<http://www.ne.jp/asahi/za/21/>

### LIVE INFORMATION

2007.10.17 (Wed)  
大阪南堀江 Knave 19:00~  
前売1800円、当日2300円

2007.10.20 (Sat)  
京都MOJO 17:00~  
前売1500円、当日1800円

2007.12.2 (Sun)  
ネットヨタヤサカ PRESENTS  
「ZAI LIVE (ワンマン)」  
都雅都雅 17:30~  
前売2000円、当日2500円  
(発売日9月23日 びあPコード271-754、  
ローソンLコード52517)

# PPS

**POWER PLAY SOUND**  
Music is moistened our life. Tasteful album is here.  
We'd like to find your recommended one.

## 芯のブレないZAIのスタイルと、 逆境もバネにして築きあげた音楽。

ZAIの2人が出会ったのは、大学の軽音楽部。大学在籍時はバンドとして活動もしていたが、そのバンドはメンバーそれぞれ就職などの理由解散。「そのとき音楽でやっていこうと決めたのが僕ら2人だけだったんですね。今でこそアコースティックユニットというスタイルが定着してきますけど、当時は『2人しかいいひんし、しょうがないなあ』という感じ始めたんですよ(笑) <伊藤>。それが、結果的に2人にとって功を奏することとなった。音楽性の部分で言えば、2人しかいない分お互いが求めている音楽が分かり、歌とギターというシンプルな構成は、ダイレクトに歌が伝わる。歌詞に込めたメッセージもダイレクトに届く。歌詞を聴きながらライブ中に涙を流してくれた人もいたという。「それを見て感極まって泣いてしまったこともあったんですよ<伊藤>」「で、僕がさらにもらい泣き(笑) <山村>」。

格好つけることも、気取ることもなく、剥きだしの感情を歌に乗せる2人にも、ZAIの揺るぎないスタイルを築くまでには苦難もあった。「ストリートで歌っている時に、

年配のお客さんから『そんなもん歌って人が集まるか！全然、伝わってこない』ってボロクソに言われたことがあって…。ちょうど自分たちの目指す音楽にも迷っていた時期だったんですよ。でもそれを乗り越えられたから今のZAIがあるんですよ<山村>」。大衆性のあるメロディがあるほうがいい、こういうメロディがお客には受ける。そんな風に気持ちが揺らぐ時期もあったが、それ以上にZAIだから作ることのできる音楽の芯がブレない方を選んだ。逆境も反骨精神でバネにして乗り越えてきた。「好きだから音楽を続けられる、でも好きだけじゃ続けていけない部分もあって、コテンパンに批評されても自分たちの歌を貫いて自分たちにしか歌えない歌をやっているというのが、今回リリースする4曲目の『僕のラブソング』なんですよ<伊藤>」。

あくまで自分たちを飾らずに、正直な気持ちを歌に乗せる2人が、リリースする「さい」を手取るあなたに伝えたいこと—「ありがとう、これから宜しく」。これもストレートなメッセージだ。



**STING**  
/TEN SUMMONER'S TALES  
ユニバーサルミュージック 2243円(税込)

「もう昔から大好きで、大学の卒論のテーマにしたぐらいです(笑)。声もちろん好きなんですけど、曲調が独創的で変拍子が入っていたりするので、歌詞も彼にしか書けないであろう言葉で書かれていたりして、偉大です。<山村>」。



**Caravan/Wander Around**  
rhythm zone 3000円(税込)

「最近知ったアーティストなんですけど、ジャンルにとらわれずにCaravanにしかできない音楽をやっていると思うんです。楽曲も自然な感じでオーガニックな温かさがあって好きなんです。僕の理想とする音楽に近い感じがしています<山村>」。



**GLENN HUGHES/feel**  
東芝EMI 2500円(税込)

「日本でも世界でもセールス的にはそんなに上がってないんですけど、もっと評価されるべきアーティストだと思います。ファンクもメタルもブルースもジャンルレスに歌える歌唱力が素晴らしい。僕がもっとも憧れるボーカリストで<伊藤>」。

recommended 01

recommended 02

recommended 03